

平成 29 年度 海外派遣留学制度説明会【質問】

<一橋大学海外派遣留学制度について>

- Q. 派遣留学制度への応募はどのような流れで進むのでしょうか？
- A. 派遣留学制度への応募については、国際課 HP に掲載されている「一橋大学海外派遣留学制度／グローバルリーダー育成海外留学制度 派遣留学生募集要項」に記載されています。
応募期間中、国際課 HP 上でオンライン申請をし、募集要項に記載されている書類を国際課窓口まで提出してください。必要に応じて、面接試験を行う場合もあります。
その後、提出書類により総合的に評価し、選考します。
- Q. 派遣留学制度とグローバルリーダー育成海外留学制度は併願できますか？
- A. 派遣留学制度とグローバルリーダー育成海外留学制度は併願できます。
- Q. 派遣留学へ応募するためには、どれくらいの GPA が必要ですか？
- A. 平成 30 年度派遣留学生募集要項（第 2 回募集）では、入学から平成 29 年度夏学期までの GPA 値が 2.7 以上であることが応募資格として定められています。応募資格としての GPA 値は変更される場合もありますので、応募時の募集要項を必ずご確認ください。
- Q. 派遣留学へ応募する際必要となる TOEFL 得点の基準はどのように決められているのですか？
- A. 応募の際求められる語学要件（TOEFL や IELTS など）は、派遣先大学へ出願する際に必要となる語学スコアを基準としています。
各派遣先大学での語学要件の詳細については、国際課 HP に掲載されている「別表 1 派遣先大学募集要件一覧」をご覧ください。
- Q. 派遣留学へ応募するためには、TOEFL iBT は何点とればいいですか？
- A. 派遣留学へ応募する際に必要となる語学要件は、希望する派遣先大学によって異なります。各派遣先大学の語学要件の詳細については、「別表 1 派遣先大学募集要件一覧」に記載されている「本学が定める要件（学部生）」をご覧ください。なお、内定後に派遣先大学へ出願する際は、派遣先大学の定める語学要件を満たしている必要があります。
- Q. IELTS のスコアが足りていない場合でも派遣留学へ応募できますか？
- A. 派遣留学制度へ応募する際には、「別表 1 派遣先大学募集要件一覧」に記載されている「本学が定める要件（学部生）」を満たしている必要があります。
TOEFL iBT、IELTS、Others(その他の語学試験)のうち 1 つを満たしていれば応募ができますので、TOEFL iBT またはその他の語学試験のスコアが足りている場合には、IELTS のスコアにかかわらず応募ができます。
なお、内定後に派遣先大学へ出願する際は、派遣先大学の定める語学要件を満たしている必要があります。
- Q. 派遣応募資格の変更をできるだけ早く知りたい。
- A. 募集する派遣先大学や応募要件に変更がある場合、「別表 1 派遣先大学募集要件一覧」を改訂したものを掲載します。定期的に国際課の HP をご確認ください。
- Q. 派遣留学制度で重要視されるのは、GPA と語学要件のどちらですか？
- A. 提出書類（特に成績証明書記載の成績を重視する）により総合的に評価し、選考します。
- Q. 派遣留学の希望大学を複数応募した場合、受かる大学は 1 つだけということでしょうか？
- A. 応募時には希望先大学いくつでもご記入いただけますが、内定するのは希望先大学の中から 1 校のみです。

Q. 派遣留学制度の選考の倍率はどれくらいですか？

A. 応募年度や希望する派遣先大学への応募状況によって選考の倍率は異なります。

【参考】平成 29 年度一橋大学海外派遣留学制度／グローバルリーダー育成海外留学制度（学部生）

全体	純志願者数	132
	内定者数	117
	倍率	1.13
第 1 回募集	延べ志願者数	120
	内定者数	104
	倍率	1.15
第 2 回募集	延べ志願者数	8
	内定者数	8
	倍率	1.00
第 3 回募集	延べ志願者	5
	内定者数	5
	倍率	1.00

Q. 派遣留学にいった場合、実際にどのくらいの期間、金額で行けますか？

A. 実際にかかる金額や留学期間については、派遣先大学によって異なります。詳細については、各派遣先大学の HP をご確認ください。また、manaba「一橋大学海外派遣留学制度」に先輩方の留学体験記が掲載されていますので、留学期間や生活費についてご確認ください。

Q. 1 年間の長期留学に行く場合、大学を 4 年間で卒業するのは不可能ですか？

A. 1 年間の長期留学後、4 年間で卒業することは不可能ではありません。ただし、留学帰国後に卒業に必要な単位数の取得、卒業論文の作成、就職活動のすべてを行うことは難しいことから、5 年間で卒業することを選択する学生が大半です。

長期留学に行き、国内では経験できないような苦難を乗り越えることによって得たものは人生の糧となるはずです。留学経験が、結果的に就職活動や就職後に生きることも多々あります。ぜひ留学に挑戦してみてください。

Q. 4 年生で留学しようとする、どのようなスケジュールになりますか？

A. 1 年次または 2 年次に TOEFL など語学能力試験対策を始め、3 年次に派遣留学制度に応募する必要があります。夏出発の場合には、4 年次の夏から留学を開始し、5 年次の夏に帰国することとなります。

<短期留学について>

Q. 初年度に行けるプログラムや語学研修はありますか？

A. 海外語学研修や短期海外研修については、学部 1 年生の場合も応募することができます。

Q. 短期留学は長期留学の準備という位置づけであって、短期のみ参加するという選択はないのでしょうか？

A. もちろん短期の留学のみに参加することができます。

Q. 短期留学と長期留学の両方に参加することは可能ですか？

A. もちろん両方のプログラムに参加することは可能です。語学研修などの短期留学プログラムは、長期留学へのスタートアップとしての位置づけにもありますので、長期留学の前に短期留学へ行くことをおすすめします。

Q. 短期海外研修の参加要件はありますか？

A. 短期海外研修では、語学要件を条件としているプログラムもあります。それぞれのプログラムの語学要件については、国際課 HP 上に掲載されている「Study Abroad Program」をご覧ください。

- Q. 海外語学研修では、派遣留学先でのホームステイは1人ですか？友人と一緒に泊まることはできますか？
- A. 他大学の学生と同じホームステイ先に泊まることはありますが、本学から派遣される学生は、各ホームステイ先で1名となっています。本学の他の学生と一緒に泊まることはできません。

<奨学金について>

- Q. 海外語学研修では、所得制限のない奨学金はありますか？
- A. 所得にかかわらず研修参加者全員を対象として、研修費用の20%相当を支援する「一橋大学海外留学奨学金」があります。
- Q. 留学プログラムへの参加を考えているものの、奨学金が受給できるか不安があります。
- A. 派遣留学制度では、すべての学部生に留学準備金と滞在費を支給しています。1年間の派遣留学に行く場合には、留学準備金として35万円、滞在費は地域に応じて6～10万円の支給があります。短期留学プログラムでは、参加学生全員に対し、研修費用の約20%を支援しています。
- Q. 大学からの奨学金はどのようにすれば受給できますか？
- A. 奨学金については、参加者に対し受給要件や申請方法についてご案内します。案内に従って、配布した申請書と必要書類を期日までに国際課までご提出ください。
- Q. 愛知県の高校出身者を対象とした奨学金について知りたい。
- A. 「堀海外留学奨学金」は、多くの愛知県出身の本学学部生に海外留学の機会を与えることを目的として、堀誠氏(1962年商学部卒)からの寄附金を原資として、平成27年度に設立された奨学金です。
「堀海外留学奨学金」に応募する場合には、一橋大学海外派遣留学制度に応募する際に、愛知県所在の高等学校卒業証明書を併せて提出して下さい。

<単位互換について>

単位互換については、教務課第二係まで直接お問い合わせください。